

2024年度青山学院大学一般選抜（個別学部日程）

地球社会共生学部

論述

【記述式の正解】

設問1	問	〈出題の意図・ねらい〉 固定観念、先入観、一般論等に囚われずに、冷静にデータ（グラフ）を読み取る力があるかを問う。					
		1.	C	2.	C	3.	B
設問2	問1	〈出題の意図・ねらい〉 課題文を論理的に読み、数的推理へ結びつけられるかを問う。					
		(ア)	3				
設問2	問2	〈出題の意図・ねらい〉 課題文から因果関係を正しく読み取る読解力とその内容を簡潔にまとめる記述力を確認する。					
		〈解答例〉 式2より労働生産性が向上することは、一定の生産量を維持するのであれば、より少ない労働投入量で十分であることを意味する。労働生産性は産業によって差がある。製造業の労働生産性が高くなることは、余剰な労働力が生じることとなり、彼らは労働生産性の低い第三次産業へ吸収されていくことになる。 (140字)					
設問3	問	〈出題の意図・ねらい〉 気候変動の結果として、強度の旱魃、水不足、深刻な火災、海面上昇、洪水、極地の氷の融解、甚大な暴風、生物多様性の減少などが挙げられ、小島嶼国や発展途上国に住んでいる人々は、既に海面上昇、海水侵入、長引く旱魃による飢餓などの影響に対して脆弱な立場に置かれていることを理解する。 そのうえで、気候変動の脆弱な人びとへの影響が、私たちの日本における生活にどのような影響を与えるかを考察できるか、地球の他所で起きている問題を身近な問題として捉える視野を持っているかを確認する。					
		〈解答例〉 日本は食料の約60%を輸入している。食料の生産地が気候変動による海面上昇や旱魃の影響により生産量が減少すれば、食料輸入量の減少、価格の上昇といった問題に繋がるだろう。また、企業の工場等などの操業現場が洪水の被害を受けた場合、その工場で生産されている製品の供給が滞るばかりか、その製品が他製品の部品や原料となっている場合、他製品の生産にも影響が出る。つまり、グローバルに張り巡らされた部品や原料の供給網にも影響をおよぼし、やがて経済全般に悪影響を及ぼす可能性もある。(232字)					

※ 設問2の問2と設問3の問の解答例は標準的なものであり、別解がある場合があります。